

みづう

市議会だより

第88号

2017

8.18



平成29年6月定例会

6月補正 食品卸売センターの観光商業施設化に1億860万円 p.2~4

常任委員会正副委員長決まる p.6

市民と議会の懇談会 天橋立観光協会
宮津市社会福祉協議会 p.7

一般質問 12人の議員が市政を問う p.8~12

〈特集〉 消防団と自主防災・有害鳥獣対策の
所管事務調査 提言書・報告書を提出 p.14~15

6月10日
田原
ほたるまつり

観光商業施設化に 認める 1億860万円



食品卸売センター

議第55号 H29一般会計補正予算 B&G海洋センター整備事業

反対
無党派
星野 和彦議員
以前から市民体育館や学校への冷暖房設備の整備が熱望されている中、なぜ海洋センターが先なのかとの市民の声がある。市民目線を大切にする行政本来の観点から反対する。

賛成
自民党宮津新生会
徳本 良孝議員
事業の本来の目的である利用者の増員に向けて、市民はもとより市外の学生などの利用を呼びかけることが重要と考える。

議第57号 H29一般会計補正予算 観光商業施設整備事業（食品卸売センター）

反対
無党派
星野 和彦議員
事業計画もなく、国からの補助金ありきで事業を推進している。公設市場の閉鎖など、戦術と戦略が欠けている。

反対
日本共産党
福井 康喜議員
賛成するに足りる資料がない状況で賛成できない。早期に納得でき、賛成できる資料の提出を求める。

賛成
蒼風会
中島 武文議員
議会の意見に真摯に対応すること、事業者の前向きな思いや行動に込めるべく誠実な事業の推進を願う。

6月定例会のつづき

平成29年6月定例会を5月30日から7月5日までの37日間開催しました。今定例会では、市長提案の平成29年度補正予算、条例改正など10議案と追加議案の1議案、議会提案の「有害鳥獣対策に関する提言書」、

補正予算における「観光商業施設整備事業」に係る改修工事費予算執行留保の附帯決議の2議案を審議し、いずれの議案も原案のとおり可決、承認、同意しました。
一般質問は、6月8日、9日に12人の議員が行いました。今定例会の傍聴者は56人でした。

【用語解説】

※附帯決議とは…
可決された案件に対し、事業を執行する上での要望や留意事項を述べするために提出するもの。

主な一般会計補正予算 補正総額 2億8,776万円

| | |
|------------------|---------|
| 宮津市B&G海洋センター整備事業 | 9,387万円 |
| 元気な里づくり推進事業 | 1,136万円 |
| 市営住宅環境整備事業 | 5,500万円 |
| 観光商業施設整備事業 | 1億860万円 |

平成29年度
6月
補正予算

食品卸売センターの 附帯決議をつけ予算を

平成29年度6月補正予算審査Q&A

総務文教分科会

宮津市B&G海洋センター整備事業に
9387万円

京都府が今年度実施する京都府立青少年海洋センターの改修とあわせて、宮津市B&G海洋センター体育館を改修するもの。

Q 施設改修に至るこれまでの経過は？

A 大学教授、旅行会社、YMCA、宮津商工会議所、宮津市など9名の委員で構成される魅力向上検討会議が、平成26年度に発足し、3回の会議が開催され、報告書がまとめられた。この報告書を踏まえ、青少年海洋センターの整備が京都全域における地域づ

くりと一体となった広域観光地域再生計画に位置づけられ、交付金の申請などを行ってきた。

委員問討議

○本会議では、かねてより要望のある市民体育館の空調設備に関する質疑が多くあった。住民の意向に沿った施設整備を行ってほしい。

○B&G体育館はスポーツ・体験型観光の拠点としての位置づけで整備がなされる。宮津市民体育館は、市民の体力向上、スポーツ及び文化の振興と発展を図る施設として位置づけられている。施設整備の優先順位は、施設整備の目的を整理して考える必要がある。

産業建設福祉分科会

食品卸売センターを改修して観光商業施設に
1億860万円

海産物を中心に宮津の食の魅力を感じることができる地場産業振興施設に改修整備するもの。

Q 整備費や目標売り上げ2億円、来場者数8万人の根拠がない。この状況で施設整備はいかなるものか？

A 当市の年間出荷額はピーク時の半分と厳しい状況のため観光消費額増に向け公が整備する。12事業者と運営会議で詰めている。

Q 鮮魚提供がメインだが漁獲量は少な

い。供給体制はどうするのか？

A 養老や栗田の生産組合と協議調整する。

Q 3月議会ですついた意見も履行されていない。すべてにおいて先送りせず、先に整理するべきではないか？

A 精力的に詰めていく。この時期に補助がなければ財源確保はできない。

委員問討議

○7月には事業計画などが示されるので、8月に再度説明を求め、従って、実施設計費は認め、改修工事費の執行留保の附帯決議をつけてはどうか。

○事業計画などもなく根拠となる統計値も示されない。廃案

にするべきではないか。

上宮津地域会議の取り組みに
500万円

地域資源を活用した特産品開発・産業創出のためのホンモロコ栽培などの取り組みの拡充と、農家民泊などの視察研修に支援するもの。

Q この事業の最終目標は何か？

A 3年以内にインターン生がホンモロコ、ワサビを担うこと。また、竹チップによる竹肥料を製造し、それを利用した栽培野菜を農家民泊などで活用すること。



ホンモロコ

ふる里会議世屋の事業に 300万円

地域で捕獲したイノシシ、シカを活用する加工処理施設を整備するもの。

Q 他地域からの搬入は？

A まずは地域の有害鳥獣被害の低減を考えている。将来的には有害鳥獣削減に寄与すると考える。

タケ丘団地建て替への地質調査、実施設計費に 5500万円

老朽化とともに空き家が増え、地域活力の低下も課題となっているため、総事業費14億円で鉄筋コンクリート造4階建にするもの。

Q 高齢者に優しいというのなら、平屋でもないのではない

か？概算14億円は割高ではないか？

A 30〜40戸規模の平屋では家賃が割高になる。概算費には解体費、集会所建設費、道路整備費などを含んでいる。

委員問討議
コスト削減に努力されたい



タケ丘団地パース

予算決算委員会

委員問討議

宮津市B&G海洋センター整備事業

○観光振興の観点も加えた整備を行うに当たり、今後の利用は、京都府や管理運営団体、利用者十分に調整を図り適切に運営すべきではないか。

委員問討議

観光商業施設整備事業

○観光消費額の伸び悩みという課題解決のためには必要な事業である。

可決

食品卸売センターの「観光商業施設化」に係る改修工事費予算執行留保の附帯決議

平成24年度に社会資本整備総合交付金事業に採択され、平成24年度から平成28年度の5カ年計画のもと、平成25年度に観光商業施設用地（宮津市食品卸売センター底地）を購入、平成28年度に観光商業施設整備に向けた基本設計策定と先行改修としてのトイレ整備を実施したところである。

議会としても、施設の整備は、地場産業を守り育てるためにも評価するところである。しかしながら、平成29年3月定例会で「実施設計段階までに運営主体や関係者等と詳細を調整された上で明確に提示されたい」との意見を付してきたにもかかわらず、事業者の公募は5月末、運営会議の立ち上げは6月に入ってからであり、具体の運営主体も現在協議中である。

議第57号 平成29年度宮津市一般会計補正予算（第2号）における「観光商業施設整備事業」に係る改修工事費については、下記の事項が真摯に対応されるまで予算の執行を留保するよう強く求める。

記

『運営主体の組織体制を明確化し、進捗状況等を適宜議会に報告すること。』

○課題であったプレイヤーが出てきてくれた。議会も応援が必要と思うが、運営主体が明確ではなく、事業計画がないのも事実で、実施設計は認め、改修工事費を執行留保する附帯決議を付してはどうか。

○若者を支援していきたいが、事業計画も示されず、本当地域一丸で支援が進められるのか不安視される。

○整備費や目標売り上げ2億円、来場者8万人の根拠がない。この状況では非常に大きなリスクを抱えるため、止めざるを得ない。

議決結果

※ ○：賛成 ×：反対 欠：欠席 退：退席

| 議案番号 | 案件・結果 | 議員名 | 蒼風会 | | | | | 自民党 宮津新生会 | | | 共産党 議員団 | | | 公明党 | | 市民連合 クラブ | | 無会派 |
|------|--|-----|------|------|------|------|------|--------------|-----|------|------------|------|------|-----|-------|-------------|-----|------|
| | | | 嶋田茂雄 | 小林宣明 | 坂根栄六 | 城崎雅文 | 中島武文 | 徳本良孝 | 安達稔 | 谷口喜弘 | 長林三代 | 福井康喜 | 宇都宮綾 | 松本隆 | 松浦登美義 | 河原末彦 | 北仲篤 | 星野和彦 |
| 報告5 | 専決処分の承認を求めると(国民健康保険税条例の一部を改正する条例) | 承認 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 報告6 | 専決処分の承認を求めると(消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例) | 承認 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 報告7 | 専決処分の承認を求めると(H28一般会計補正予算(第14号)) | 承認 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 50 | 農業委員会委員の任命及び農業委員会委員の認定農業者等過半数要件の例外適用 | 同意 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 51 | 過疎地域自立促進特別措置法における固定資産税の特例に関する条例の一部改正 | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 52 | 半島振興法における固定資産税の特例に関する条例の一部改正 | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 53 | 市税条例の一部改正 | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 54 | 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担等に関する条例の一部改正 | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 55 | H29一般会計補正予算(第1号) | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| 56 | H29土地建物造成事業特別会計補正予算(第1号) | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 57 | H29一般会計補正予算(第2号) | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 退 | 退 | 退 | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| 市議1 | 有害鳥獣対策に関する提言書(案) | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 市議2 | H29一般会計補正予算(第2号)における「観光商業施設整備事業」に係る改修工事費予算執行留保の附帯決議(案) | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 退 | 退 | 退 | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × |

(報告5~7及び50、56は5月30日、51~55及び市議1は6月23日、57及び市議2は7月5日に議決。)

※ 議長(松浦)は、可否同数の場合のみ可否を裁決します。 ※市議1、市議2は議員が提案した議案です。



(平成29年7月20日、
平成32年7月19日)

石田弘司氏
小嶋保徳氏
吉田隆進氏
古橋三強氏
宮崎孝正氏
尾関嘉則氏
市田道博氏
中嶋道忠氏
藤井掲司氏
関野誠氏
内方誠氏
和久田三三氏
宇野由美子氏
今中睦美氏
◆農業委員会委員

次のとおり人事案件に同意しました。

同意

人事関係

議会の構成

(平成29年7月5日現在)

| 特別委員会 活性化 | 常任委員会 | | | | 議会運営委員会 | 委員会名 |
|---|---|---|--|---|---|---|
| | 議会情報 委員会 | 産業建設 福祉 委員会 | 総務 文教 委員会 | 予算 決算 委員会 | | |
| ◎坂根 栄六 ◎長林 三代 ◎徳本 良孝 ◇松本 隆 ◇河原 末彦 ◇嶋田 茂雄 | ◎中島 武文 ◎福井 康喜 ◎北仲 篤 ◇星野 和彦 ◇松本 隆 ◇谷口 喜弘 | ◎長林 三代 ◎松浦登美義 ◎星野 和彦 ◎安達 稔 ◇嶋田 茂雄 ◇河原 末彦 ◇谷口 喜弘 ◇坂根 栄六 | ◎城崎 雅文 ◎福井 康喜 ◎北仲 篤 ◎徳本 良孝 ◇宇都宮 綾 ◇松本 隆 ◇中島 武文 ◇小林 宣明 | ◎河原 末彦 ◎長林 三代 ◎福井 康喜 ◎北仲 篤 ◎城崎 雅文 ◎谷口 喜弘 ◎徳本 良孝 ◎嶋田 茂雄 ◇小林 宣明 ◇宇都宮 綾 ◇松本 隆 ◇中島 武文 ◇星野 和彦 ◇安達 稔 ◇坂根 栄六 | ◎松本 隆 ◎長林 三代 ◎城崎 雅文 ◇嶋田 茂雄 ◇河原 末彦 ◇徳本 良孝 | 所管事項 ・議会の運営に関する事項 ・議会の会議規則、委員会条例等に関する事項 ・議長の諮問に関する事項 |
| ・議会基本条例の検証、議会活性化に関する事項 | ・議会広報誌の編集・発行に関する事項 ・議会広報の調査・研究に関する事項 ・議会報告会に関する事項 | ・健康福祉部、産業経済部、建設部、農業委員会の所管に属する事項 | ・総務部、企画部、市民部、会計課、教育委員会の所管に属する事項 ・他の常任委員会の所管に属しない事項 | ・予算・決算の議案等に関する事項 | | |

常任委員会

正副委員長の交代

(平成29年7月5日現在)

総務文教委員会

委員長

城崎 雅文

副委員長

宇都宮 綾

産業建設福祉委員会

委員長

長林 三代

副委員長

嶋田 茂雄

予算決算委員会

委員長

河原 末彦

副委員長

小林 宣明

議会情報委員会

委員長

中島 武文

副委員長

星野 和彦

永年勤続議員表彰

平成29年5月24日に東京で開催された第93回全国市議会議長会定期総会において、表彰されました。

【議員在職20年以上】

安達 稔
徳本 良孝

【議員在職10年以上】

長林 三代

議長交際費

議長交際費とは、議長が市議会を代表して外部と交際する場合に支出するものです。平成28年度の執行状況は下記のとおりです。

| 区分 | 件数 | 支出額 | 主な支出内容 |
|----|----|----------|--|
| 祝金 | 1 | 2,122円 | 海水浴場海開き祝酒 |
| 会費 | 15 | 94,400円 | 宮津ニュージューランド協会 総会懇親会会費 (公社)天橋立観光協会総会 懇親会会費など |
| 賛助 | 1 | 5,000円 | 原水爆禁止2016世界大会 賛助金 |
| 計 | 17 | 101,522円 | |

※詳しくは、ホームページをご覧ください。

市民と議会の懇談会

今年度から「議会報告会」を見直し、「市民と議会の懇談会」として開催することとなりました。7月7日には総務文教委員会の委員が天橋立観光協会の皆さん（7名）と、7月18日には産業建設福祉委員会の委員が宮津市社会福祉協議会の皆さん（12名）と意見交換を行いました。

天橋立観光協会の皆さんとの意見交換の場では、次のようなご意見をいただきました。



- 訪日外国人観光客の誘客を推進していくべき。
- 宮津で獲れた魚など地場産品の地産地消を推進するための施策を検討すべき。
- 宮津市の方を採用したいが募集しても集まらない。市としても働きやすい環境を整備してほしい。

宮津市社会福祉協議会の皆さんとは、テーマを相談事業・外出支援・総合事業の3つに分け意見交換を行い、次のようなご意見をいただきました。



- 障害のある人や精神疾患、引きこもりなどの方への支援を行うために、市職員と議員が協同で府に働きかけてネットワークづくりを行うべき。
- 困ったら気軽に相談できる地域づくりを行うため、地域のサポート支援をする元気な人の活躍を応援するべき。
- 総合事業の利用料や事業内容のはっきりとした提示を市は早急にしてほしい。

<市民と議会の懇談会>

7月～8月には、テーマを決めて団体の皆さんと、11月にはこれまでと同様に各地域に向き、市民の皆さんと意見交換をしたいと考えています。多くの皆さんのご参加をお待ちしています。

次回の懇談会は、11月初旬に予定をしています。



そば喰い大会の様子

表紙
第20回
田原ぼたもちまつり

6月10日(土)午後5時から午後9時まで田原農産加工センターで開催されました。あぜ道に約600個のペットボトル提灯が設置され、幻想的な田園風景が広がりました。また、広場では、模擬店やライブ演奏、そば喰い大会、田原産もち米による「振る舞いもち撒き」が行われ、約800人の来場者はそれぞれにほたるまつりを楽しまれました。

12名の議員が一般質問

市政を問う!

◇答弁者は、下記のとおり略称を使用しています。

理事…理事兼企画部長 福祉部長…健康福祉部長
産業部長…産業経済部長

一問一答

竹資源有効活用プロジェクトの現状はどうか



蒼風会
小林宣明議員

民間事業者とし、年間2ヘクタールとして

質問 平成21年度より始まった「竹」のカスケード(連携)利用によるビジネスモデルの構築・竹関連企業の促進・竹のブランド化を図るとして、市内164ヘクタールの竹林整備。年間8ヘクタールを地域と一緒に、放置された竹を整理とした竹林に整備。将来的には、宮津市の全竹林617ヘクタールを管理するとして

うのか。
産業部長 平成23年度からの6年間で16ヘクタール。平成28年度からは、管理センターの管理運営は

質問 農林バイオマス3号技術を活用した竹のガス化発電及び液体燃料化を行う

宮津バイオマスエネルギー製造事業所の現状はどうか。更に、事業費5億9100万円に対する事業効果をどのように検証しているのか。

産業部長 竹のガス化で発電と液体燃料化とはガスの成分が異なり、液体燃料化はタービンが多く連続運転できない。現在可動していない。外国での実証状況も見極め、平成31年には改修したい。事業効果は、管理センターにおける一次構築は出来た。

一括

浜町の商業・観光施設整備の完了時期とその姿を問う



自民党宮津新生会
徳本良孝議員

質問 浜町地区では、

国の補助制度を財源とした多くの事業が展開・実施され、現在は、パイロット事業(物販・飲食)施設や商業施設(ミツプル)内への「図書館」をはじめとする公共・行政施設機能の一部移設に向けた整備が行われているが、施設整備の完了時期とその姿を尋ねる。

また、漁師町での観光商業施設整備は、国の補助金ありきの事業ではないかと考

えるが、その手法と位置づけ、関係性を尋ねる。
理事 浜町再開発用

地周辺の整備は地域振興拠点の具体化に向け、パイロット事業関連予算を認めていただきながら進めてきた。今夏にはパイロット事業施設の飲食・物販店、鮮魚店が開業し、11月下旬には宮津阪急ビル(ミツプル)内に図書館や新しい子育て支援施設の開設を予定している。その後は、集客状況などを勘案し関係事業者との協議を踏まえての判断になる。

また、漁師町での施設整備は国の補助金ありきとの指摘だが、地域経済力を高めていく上で必要な整備と考え、関係者と議論を深め、国の後押しも受け進めていきたい。

一問一答

リスクを考え、給食施設と
加工食品工場は別棟にするべきだ



日本共産党
長林三代議員

あるいは加工施設が停止することはない。ハーベストは給食と加工食品を同じ機器でつくるのか。

教育次長 食品を洗

質問 自校給食を實施する自治体が増えているが、本市はその流れに逆行している。食中毒などの予防のために、加工施設と給食施設は別棟が基本と考えるが、どうか。

つたり製造したりする部分は共有である。**質問** 共有なら食中毒が発生した場合どちらが責任をとるのか。すべて本市の責任なのか。

教育次長 食品製造工場では給食を調理するもので、衛生基準を十分クリアするもの。

ハーベストは給食を作るために宮津にきたのか。そうであるなら企業誘致の3千万円は適正だとは思えない。**教育次長** 基準に合致した中で給食を作るものである。

みんなが払える国保に

質問 本市は払いたくても払えない滞納者の財産を差し押さえ競売で現金化して

いる。府内でトップだ。**市民部長** 資力に応じて適正に対応している。

一括

少子化問題と
「人間力」の育て方



公明党
松本隆議員

質問 「人間力」とは、自分の存在を肯定し、よりよく生きようとする自助の意欲と他者を尊重し、助けようとする共助の意欲を指す。しかし、現在の少子化などが要因でその低下が懸念される。人間力を育むための考え方は。また、「人間力」を育てるには「放課後子ども教室」が重要と考えるがどうか。

がら家庭や地域、学校や関係団体、行政が一丸となって社会総がかりで教育に当たっていかねばならない。これらのことが自助と共助による「人間力」を育む一つの道筋と考える。また、「放課後子ども教室」は、すべての子どもを対象に安全・安心な子どもの居場所を設け、地域の方々の参画を得て学習やスポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動の機会を提供する取り組みを推進するもの。平成31年までに全小学校区で放課後児童クラブと一体的又は連携して実施とされており、「宮津市子ども子育て支援事業計画」でも導入の検討を掲げている。

教育長 将来の人づくりを、市民との共有理解のもと、点の教育ではなく、線としてのつながり、面としての広がりのある教育を大切にしたい。

一問一答

公共交通政策の現状と課題、
今後どのように取り組むのか



市民連合クラブ
北仲篤議員

質問 平成26年に地域公共交通活性化再生法が改正され、地方自治体が地域公共交通ネットワーク再構築計画策定を支援する仕組みが整えられた。本市での取り組み状況はどうか。

理事 平成25年に丹後地域路線バス利用向上連携計画、平成26年に北近畿タンゴ鉄道沿線地域公共交通網形成計画を策定した。

スそのまま延伸することは難しいことが課題である。**質問** バスを補完する意味でもデマンド交通を導入すべき。福知山市では廃止バス路線にデマンドタクシー導入の実証実験が行われた。**理事** 人口減少と高齢化が進む中で住民の移動手段を確保するための手段の一つとしてデマンド型交通も検討が必要と考える。

質問 本市の公共交通空白地域と解消のための課題は何か。**理事** 中ノ茶屋、菟田、松尾、山中、皆原。いずれも道路が狭く現在運行中のバ

新設してはどうか。**理事** 現時点では購入補助の検討はしていない。タクシー乗車券の導入など公共交通による移動支援の充実を図りたい。

一問一答

由良地区の歴史伝承を活用した
観光施策の強化



無党派
星野和彦議員

し由良へ多額の寄付を続けた「澤井市造」を活用するふるさと納税の推進と周知。

質問 平成元年ごろまで30万人を超えていた由良の観光客は、高速道路の延伸につれ減少し、昨年度は17万人となった。以下5点の活用を提案する。

- ①今も歌舞伎や新劇で演じられる「山椒大夫」の名所案内板整備、物語に登場する町との広域連携。
- ②奈良国立博物館の快慶展に6月上旬まで出品された如意寺の「地藏菩薩坐像」
- ③由良と大江山を詠んだ2首の「百人一首」にちなむ催し。
- ④明治時代、台湾を拠点に各地の鉄道建設・経営などで成功

⑤幕末の京都で優秀な近代医学者を育み諸藩の財政も再建した名医「新宮涼庭」

理事 ①地元で設置・管理されている案内板は、まちづく

り補助金を活用願いたい。広域連携は、まず地元主体で取り組むことが必要。

②地元の信仰対象と至宝のため、地元の意見を大切にしたい。

③市民の機運向上が大切だと考える。

④広報誌で市民への周知を検討したい。
教育次長 ⑤功績を伝える地元資料に乏しいが、地元の盛り上がり観光体制構築に繋がると考える。

一問一答

インバウンド対応として観光用
トイレ整備費用補助金の創設を



蒼風会
城崎雅文議員

を洋式トイレなどに整備する場合、その費用の一部を補助する制度を創設してはどうか。

質問 2020年に向けて外国人観光客はますます増加していくと考える。イン

バウンドの受け入れ対応として、観光用の洋式トイレの不足の声をよく聞く。そこで民間事業者などが土産物店や商店などの観光客用トイレ

理事 洋式トイレの確保は民間と行政が協力して整備をしていくべきと考える。

「海の京都」天橋立地区協議会で策定したマスタープランのもとに、今後はインバウンド対策として民間も行政もトイレ改修の協議をしていく。

都市公園の有効活用を

質問 宮津市の市民1人当たり公園面積

は全国でもトップクラスであるが、すべてが有効に利用されていない。特に府中公園のテニスコートはほとんど利用がな

い。有効活用できる

よう検討すべき。

建設部長 地域・関係団体の皆さんと意見交換を行いながら、利用状況が低くなっている公園施設の有効活用に向けた取り組みを進めたい。

一問一答

子どもたちや教職員の教育環境
整備に向けすぐにも計画を立てよ



日本共産党
宇都宮綾議員

近年30度を超える暑さで、教室では授業に集中できない現状。トイレの洋式化と普通教室などへエアコン設置を教育振興計画にも掲げている。早期に計画し、教育の環境改善を求めるがどうか。

質問 家庭や民間・観光施設など、トイレ洋式化整備が進む中、当市の学校トイレ洋式化率は府下で最下位と新聞報道された。未設置の学校はポータブルトイレの対応だ。教職員トイレもほとんど設置されてない。また、

教育次長 学校施設の整備は不十分と認識。本年度で小学校耐震化が完了。次の施設整備年次計画を策定する。

放射線から守るため

質問 国民の反対の中、高浜原発再稼働

で原発事故の危険性が更に高まった。放射性ヨウ素から守るための安定ヨウ素剤事前配布と保育や教育施設へ備蓄、市民や職員への学習会を

すべきだ。

総務部長 国の方針なしに事前配布はしない。市民や職員の認識に努める。分散備蓄は避難住民用のものであり、子どもたちの施設ごとの備蓄は行わない。

一問一答

原子力災害避難計画の
実効性の確保を



市民連合クラブ
河原末彦議員

をお願いしていく。

質問 福島原発事故を踏まえて原発から30キロメートル圏内の市町村は、避難計画の策定が義務付けられた。避難弱者を抱える病院・福祉施設・学校・保育所などでの原子力災害避難計画の策定状況を伺う。

総務部長 病院・特別養護老人ホームは策定済み。また、公立の学校・幼稚園などもすべて策定済みであるが、民間施設では未策定。また、高齢者通所施設で6施設、障害者通所施設はすべてが未策定の状況である。未策定の施設には、策定

をお願いでいい。

質問 在宅の要援護者には、一人ひとりに対する「避難支援者」「避難誘導方法」「避難先」を盛り込んだ「個別避難計画」を策定することとしているが、策定状況を伺う。

福祉部長 要援護者には、災害時助け合いネットワークを構築して、対象者1500名のうち約700名が個人情報報告の共有に同意いただき個別の避難計画を作っているが、原子力災害に係る移送手段を明記する計画にはなっていない。先般、避難支援関係者で検討会議を立ち上げたところであり、原子力災害を想定した個別の避難計画を策定していく。

一問一答

平日対策に外国人旅行者の誘客を
強化するなど稼ぐ観光の推進を



蒼風会
中島武文議員

質問 市が考える「稼ぐ観光」とは。

理事 メイドイン宮津の土産物が多数販売され、観光事業者が積極的に域内の農林水産物を調達する構図になれば、観光から生じた需要により市内経済が更に活性化し、また、これまで観光に直接関係していなかった地域でも域内の資源を活用し、観光客から外貨を稼ぐことで市内経済の活性化に寄与していただく。このような一連の経済活動を稼ぐ観光と表現している。

質問 滞在型観光を推進し、観光消費額

増に繋げるためには、宿泊者数を増やすことが大切だと考える。長期連休には、宿は高い稼働率なのではないかと思う。宿泊者数を増やすためには平日対策が重要になると考える。その対策として、外国人観光客に一層注力されてはどうか。

理事 外国人観光客は曜日や天候に左右されることなく宿泊され長期滞在される傾向にあることから、市としても、平日や閑散期対策として有効であると考えられる。そのため今後は、宿泊施設の外国人観光客受け入れ体制の充実などにも取り組まなければならないと考える。

一問一答

核兵器禁止国際条約批准に向け、
国際署名の推進を呼びかけては



日本共産党
福井康喜議員

質問 「核兵器を禁止する法的拘束力のある協定」の国連会議が開かれた。どう受け止めているのか。

市長 市は昭和62年3月議会で非核平和都市宣言を決議した。核兵器のない、戦争のない平和な世界の実現に向けた動きが進んでいくよう期待している。

質問 被爆者が、国際署名を世界に呼びかけている。市長名で国際署名を広げる取り組みを市民に呼びかけてはどうか。

市長 平和首長会議に参加。キャラバン隊の参加や賛同支援を行い平和な世界への機運へつなげる。

質問 以前は庁舎の壁に「非核宣言都市」の懸垂幕が掛かっていたが現在はない。掛けるべきだ。

総務部長 懸垂幕は、その時々状況に応じて掲出している。要望は何っておく。

マイナンバー制度の使用中止を

質問 特別徴収税額決定通知書の誤送事件が起きた。マイナンバー流出は市民に多大な被害をもたらす。マイナンバー制

度の中止を国へ求めたい。

市民部長 制度中止を国へ求める予定はないが、誤送防止を徹底する。

一問一答

能力開発ブレインブースト
(超速読術)など新図書館での開催を



蒼風会
坂根栄六議員

質問 就任にあたり宮津市の教育への想いは。

教育長 教育は未来への希望・投資。「地域づくりは人づくり、人づくりは心づくり」が私の信念。宮津で育った人は一味違うと信じていた。ただけるような人づくりを進めたい。子供たちの心に宮津を育み、自己教育力を身につけ、学びの中にときめきを感じて欲しい。確かな学力は人生の選択の幅を広げる。夢や目標をみつけた時、溢れ出す意欲の中で学習できる力を身につけられるようにしたい。

質問 学びの質を向上させ、学力を上げ、宮津市新図書館ならではの魅力づけとなる驚愕の能力開発教育ブレインブースト(超速読術)、自己肯定感醸成教育、夢・志教育、アクティブブレイン(記憶術)など、田舎では学べない教育法を「教育のまち みやづ」新図書館オープン記念としてシリーズ開催しては。

教育長 新図書館では、図書館の資源・スペースを活用した講演会、子育て支援フロアと連携した読み聞かせの充実、生涯学習、ビジネス支援、各種講座の開催を検討している。まずは子育て支援の充実を軸に、今後、図書館協議会で検討していきたい。

議員が
おじゃましました!

天橋 お楽しみ ほっとサロン

6月10日(土)「天橋お楽しみほっとサロン」におじゃましました。

近年、地域で無縁社会現象が進み、井戸端会議や子ども達の屋外で遊ぶ姿が見られなくなり、淋しささえ感じる中、地元民生児童委員の村岡千鶴さんと協力者により、ごなたでも参加でき、ほっとする時間を共有するサロンとして新たにスタートされました。

この日は、「リハビリイド与謝野」より、施設長の野村浩さんをお招き



し、「口腔体・口腔ケア」につきお話があり、「呑みこんでいいよと脳が判断して飲み込む。しかし、誤飲でまちがって肺の中に入ったたりすることがある。よく噛んでよく飲み込むことの重要性、

また、水分補給・運動・排出、どれが欠けてもいけない」など、日常生活での心得を学んでいました。

また、太極拳の呼吸法を取り入れた「体の体操」に汗を流されています。

一般的な健康体操なら、しゃべり声が出たりもするのですが、呼吸法を基本とする体操になるため、すごく静かで、真剣にされる横顔が印象的でした。

このあとは、主催者の方で用意してくださった飲み物や食べ物をおいしく召し上がったの間違いありません。

参加者の声

◇78歳の男性の方

「体操をやり終えた後、体が軽くなったような気がする。毎日でも続けたい」

主催者の声

「第一回目としては、ご参加の皆さんに楽しんでいただけた。今後、もっともっと内容を充実していきたい」とのこと。一人でも多くのご参加をお待ちしています。

平成28年度 政務活動費収支報告一覧

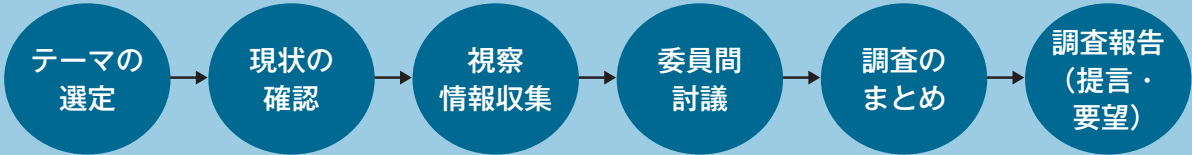
政務活動費とは、自治体が議員の調査研究に必要な経費の一部として、条例により交付できる経費です。
本市の場合、議員1人当たり年額12万円を議会会派に交付しています。なお、残額は宮津市に返還します。

| | | 蒼風会 4～6月(6人) 7月～(5人) | 自民党 宮津新生会 (3人) | 日本共産党 宮津市会議員団 (3人) | 公明党 (2人) | 市民連合 クラブ (2人) | 無会派 7月～(1人) |
|-------|----------|---|------------------------|--------------------------|---------------|---------------------|----------------|
| 所属議員名 | | 小林 宣明 嶋田 茂雄 坂根 栄六 城崎 雅文 中島 武文 | 徳本 良孝 安達 稔 谷口 喜弘 | 長林 三代 福井 康喜 宇都宮 綾 | 松本 隆 松浦登美義 | 北仲 篤 河原 末彦 | 星野 和彦 |
| 収入 | 政務活動費 | 630,000 | 360,000 | 360,000 | 240,000 | 240,000 | 90,000 |
| | 自己負担分 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 計 | 630,000 | 360,000 | 360,000 | 240,000 | 240,000 | 90,000 |
| 支出 | 調査研究費 | 273,741 | 313,420 | 191,321 | 0 | 177,420 | 62,278 |
| | 研修費 | 200,274 | 0 | 0 | 135,080 | | 0 |
| | 広報費 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 |
| | 広聴費 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 |
| | 要請・陳情活動費 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 |
| | 会議費 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 |
| | 資料作成費 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 |
| | 資料購入費 | 0 | 0 | 56,657 | 0 | 8,108 | 0 |
| | 人件費 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 |
| | 事務所費 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 |
| 計 | 474,015 | 313,420 | 247,978 | 135,080 | 185,528 | 62,278 | |
| 返還金 | 155,985 | 46,580 | 112,022 | 104,920 | 54,472 | 27,722 | |

主な支出内容

| 会派 | 支出内容 |
|------------------|---|
| 蒼風会 | <ul style="list-style-type: none"> 調査研究費 富山県氷見市／体育館をリノベーションして市庁舎へ 富山県七尾市(株御祓川)／中心市街地まちづくり「株式会社御祓川の取り組み」 富山県砺波市／三世代同居の推進 福岡県北九州市(株北九州家守舎)／リノベーションまちづくりによるエリアの再生 自治体財政集中研修会／自治体予算を効果的に見る方法、決算カードフル活用 研修費 |
| 自民党 宮津新生会 | <ul style="list-style-type: none"> 調査研究費 熊本県熊本市／熊本地震の被災状況と復興の取組など 鹿児島県薩摩川内市(九州電力)／川内原発の安全対策及び稼働状況 熊本県大津町(大津町商工会)／「熟人(あつびと)」事業の計画立案と実施 |
| 日本共産党 宮津市会議員団 | <ul style="list-style-type: none"> 調査研究費 滋賀県東近江市(蒲生給食センター)／中学校給食までの学校給食センターの取り組み 兵庫県淡路市(のじまスコラ)／のじまスコラの取り組み 広島県尾道市(百島農園)／高齢者の農業 広島県安芸太田町／移住定住事業「都会近くの田舎暮らし」 島根県邑南町／「食の町」としての観光など、子育て支援施策 資料購入費 地方議会人ほか書籍、資料 |
| 公明党 | <ul style="list-style-type: none"> 研修費 質問力・議員力向上集中セミナー／効果的な質問・質疑を目指して 一般質問から始める議員提案条例 不穏当・不規則発言にどう対応するか |
| 市民連合クラブ | <ul style="list-style-type: none"> 調査研究費 佐賀県武雄市／ICT教育、武雄市立図書館 長崎県諫早市／こどもの城 熊本県天草市／新しい介護保険事業 資料購入費 月刊「自治研」 |
| 無会派 | <ul style="list-style-type: none"> 調査研究費 山口県光市／理想的な学校給食 山口県長門市(金子みすず記念館)／金子みすず記念館設立の手法 山口県長門市／廃校利用のツーリズム・青海島共和国 広島県江田島市／オリーブ栽培 広島県呉市／フィルムコミッション |

※収支報告書(視察報告書含む)は、情報公開コーナー(別館1階)、議会図書室で閲覧していただけます。



常任委員会の調査活動をクローズアップ！

議会情報化委員会では、市民の皆様には議会の様々な動きをお伝えしたいと考えています。今号では、議会の新たな取り組みとして、平成28年度から開始した、各常任委員会における「所管事務調査」にスポットを当て、議会活動の1コマを特集記事としてお届けします。

総務文教委員会

テーマ「消防団と自主防災について」

○調査内容

宮津市消防団本部との意見交換では、消防団員の確保は大きな課題であると認識した。

っている組織は27組織、会員減少に伴い独自活動はしていない組織が1組織、未回答は29組織であった。

次に、先進地視察を行った沼津市では、緊急避難の際に自分の身を自分で守る「的確な避難」を行えるよう自主防災組織を組織化され、防災知識の普及や防災訓練の適切な指導を行う防災指導員の育成を行っている。

宮津市の自主防災に係るアンケート調査によると、91組織中、消火活動のみの組織は29組織、自然災害全般への対応を行

これらの調査から、人口の減少や高齢化が進む中で、想定外の災害に対応するためには、地域コミュニティにおける防災に関する人・組織がしっかりと考えていることが重要であると考える。火災以外の自然災害が起った際にも、避難や災害復旧などを円滑に行えるよう共同機能を発揮できる地域づくりの重要性を認識した。



総務文教委員会で一致した意見

- ア 現役団員の意向を大切に、「消防団応援事業所制度」や「機能別消防団員制度」などの消防団活性化に繋がる制度の調査・研究を行い、地域防災力の強化に繋がりたい。
- イ 自衛消防隊・自主防災会等の既存組織を、地域の実情に合わせ、災害全般に対応し地域の防災力を高めるために活動する組織にするための契機をつくらたい。



総務文教委員会
消防団本部との意見交換



産業建設福祉委員会
三好市への先進地視察調査



総務文教委員会
沼津市への先進地視察調査

<総務文教委員会・調査日>

- 平成28年9月2日 所管事務調査事項の議決
- 10月7日 宮津市消防団本部との意見交換
- 11月9日 静岡県沼津市へ先進地視察調査
- 平成29年2月9日 執行部との意見交換
- 平成28年12月から平成29年6月の間に調査研究を4回開催

追跡!
議会活動

委員会の所管事務調査を追い!

初めての提言書・報告書を提出



議長・各常任委員長で井上市長に提言書・報告書を提出

所管事務調査とは・・・

常任委員会は、その部門に属する事務に関して調査を行う権限を持っています。所管事務調査権は市から提案された予算案や条例案などの議案を審査するのとは違い、常任委員会が自主的にテーマを設定し、調査を行うものです。

※所管事務調査の報告書は、市議会ホームページで公開しています。

産業建設福祉委員会

テーマ「有害鳥獣対策について」

○調査内容

調査に当たり、執行部から関係資料の提出と現状説明を受け、また、猟友会より現状報告を受けた。

先進地事例の調査として徳島県三好市の視察を実施した。また、本市の4地区において、地元農

業者の案内で被害状況を確認した。田畑はもちろんであるが、道路法面や傾斜地をイノシシが掘り返すことよって、山崩れや土砂崩れを引き起こし、家屋倒壊の恐れもある現状を確認した。



産業建設福祉委員会
上石浦地区への視察調査



産業建設福祉委員会
吉津地区への視察調査

産業建設福祉委員会で一致した意見

※意見の「オ～コ」については、議員全員の一致した意見として提言書にまとめ提出しました。

- ア 国道・府道沿いや京都丹後鉄道沿線の公共用地内には、防護柵の設置が許可されていない。設置の緩和措置を国・府に要望されたい。
- イ 住宅地周辺は獣害防除の補助要件に入っていない。補助の対象となるよう国・府に要望されたい。
- ウ 電気柵とメッシュ柵の両方を設置できるように、補助要件緩和の要望をされたい。
- エ 防護柵の設置要望箇所の予算確保を国・府へ要望されたい。
- オ 防護柵の要望がある未設置箇所については、早期設置に向け努められたい。
- カ 防護柵等の設置及びその後の管理には、地域と連携し、大学生や農業体験者等を募集するなど、人材の確保に努められたい。
- キ 猟友会の後継者育成に力を入れるとともに、有害鳥獣の駆除員として人員の確保に努められたい。
- ク サル対策としてモンキードッグ活用の試みをされたい。
- ケ 動物撃退器の実証実験をし、その効果を検証されたい。
- コ 地域の状況に応じて、公共用地内に防護柵の設置緩和をされたい。

<産業建設福祉委員会・調査日>

平成28年9月2日 所管事務調査事項の議決
10月27日 執行部・猟友会との意見交換
11月18日 徳島県三好市へ先進地視察調査

平成29年3月から6月の間に調査研究を5回開催
4月10日 吉津地区、上石浦地区へ視察調査
5月22日 田原地区、新宮地区へ視察調査

ひとこと

国道178号沿いに 17本の桜を植樹

R178会 代表 小藪繁正さん



国道178号、宮津市字里波見地内、沖出し道路付近の盛土部分全体が雑草で覆われていたので、何とかきれいにしようと思った同志が集い、平成22年度より宮津市の緑の募金による植木の配布により5本の桜の植木を植樹し、草刈も年3回行ったことからスタートしました。

そして、平成29年3月には、養老中学校が閉校となり、その記念として、在校生全員と教職員のみなさん、それにR178会の会員で、しだれ桜、八重桜、ソメイヨシノを合わせて17本植樹しました。

生徒さん達の成長と共に植木も成長し、やがて桜の花も満開になることを確信しています。

会員の年齢も50〜80代と幅広く、今では14名のメンバーで今年も4回程ボランティアで草刈りを行いたいと思っています。

9月定例会 会議日程

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|------|------|-------------------|------------------|-------------------|------|------|
| 8/27 | 8/28 | 8/29 | 8/30 | 8/31 | 9/1 | 9/2 |
| | | | 本会議 (開会・提案説明) | | | |
| 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| | | | 本会議 (一般質問) | 本会議 (質疑・委員会付託) | | |
| 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| | | 常任委員会・予算決算委員会分科会 | | 予算決算委員会 | | |
| 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| | | 本会議 (委員長報告・採決) | | | | |
| | | | 予算決算委員会分科会 | | | |
| 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |
| | | | 予算決算委員会 | | | |
| 10/1 | 10/2 | 10/3 | 10/4 | 10/5 | 10/6 | 10/7 |
| | | 本会議 (委員長報告・採決) | | | | |

※開議時刻10:00(9/14は13:30~)
・この日程は予定であり、予告なく変更する場合があります。

おしえて! 議会用語



Q 「委員会討議」と「意見」ってどう違うの?

A 「委員間討議」は、質疑を踏まえ課題・論点の再整理を行い、委員会としてどう扱うのか、どう判断するのかを討議した内容です。「意見」は、討議の結果、委員会の総意として市に出したものです。



議会情報化委員会

委員長 中島 武文 副委員長 星野 和彦
委員 福井 康喜 委員 松本 隆
委員 北仲 篤 委員 谷口 喜弘

編集後記

6月議会は、観光商業施設整備事業補正予算に対して、会期を延長し、観光を中心にした宮津のまちづくりや、地域循環型の経済をいかに発展させるかなど熱い議論が交わされました。

市民の皆さまに議会を身近に感じていただき、議会の内容を、より知っていただくためにも、一層紙面づくりに努力してまいります。市民の皆さまからも議会だよりに対するご意見をお寄せください。(福井)